

クリスタルレジンによる昆虫(クワガタ)標本の作り方(その1)

<p>①</p>	<p style="text-align: center;">昆虫の用意</p> 	<p>製作したい昆虫を用意します。</p> <p>昆虫を処理する場合は、「酢酸エチル」を染み込ませた脱脂綿をビン容器に入れ、密閉して行ないます。</p> <p>〔使用するもの〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 酢酸エチル（薬局で購入できます）
<p>②</p>	<p style="text-align: center;">消毒用アルコール処理</p> 	<p>見た目より汚れているので、歯ブラシなどを使用してよく水洗いをします。</p> <p>関節などが硬化している場合は、「消毒用アルコール」に数時間浸けて軟化させます。</p> <p>また、腐敗防止のためにも行なったほうが良いです。</p> <p>〔使用するもの〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消毒用アルコール（薬局で購入できます）
<p>③</p>	<p style="text-align: center;">整形処理(固定)</p> 	<p>関節などが十分に軟化したら整形して、ピンセットや標本針などを使用して板などに固定します。</p> <p>〔使用するもの〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 標本針 ・ ピンセット ・ 固定用の板など
<p>④</p>	<p style="text-align: center;">乾燥</p> 	<p>自然乾燥の場合には、直射日光が当たらない風通しの良い場所に1週間以上放置します。</p> <p>強制乾燥の場合には、温風循環式乾燥機などを使用して60℃/5時間位行ないます</p> <p>注) 昆虫の大小により乾燥時間は異なります。</p>
<p>⑤</p>	<p style="text-align: center;">標本にする昆虫の出来上がり</p> 	<p>乾燥が終了した昆虫の標本針を外します。</p> <p>乾燥した昆虫は壊れやすいので注意します。</p> <p>これで標本にする昆虫の完成です。</p> 

クリスタルレジンによる昆虫(クワガタ)標本の作り方(その2)

<p>⑥</p>	<p>1回目の注型作業(台の作製)</p> 	<p>昆虫を中心部分に封入するために「シリコン型」に「クリスタルレジン」を5mm位(台にする部分を作製します)注型します。 注)「クリスタルレジン」を脱泡すると気泡がない硬化物を得られます。</p> <p>〔使用するもの〕 ・クリスタルレジン ・シリコン型(角)40×75×25</p>
<p>⑦</p>	<p>昆虫の接着</p> 	<p>注型した「クリスタルレジン」を23℃で24時間硬化させます。</p> <p>硬化した「クリスタルレジン」の台部分に昆虫を固定するため、接着剤を塗布します。</p> <p>〔使用するもの〕 ・接着剤など</p>
<p>⑧</p>	<p>昆虫の固定</p> 	<p>ピンセットなどを使用して、台部分に固定します。</p> 
<p>⑨</p>	<p>2回目の注型作業</p> 	<p>固定した昆虫に「クリスタルレジン」を注型して完全に封入します。</p> <p>注型した「クリスタルレジン」を23℃で24時間硬化させます。 注)「クリスタルレジン」を脱泡すると気泡がない硬化物を得られます。</p> <p>〔使用するもの〕 ・クリスタルレジン</p>
<p>⑩</p>	<p>昆虫標本の完成</p> 	<p>これで「クリスタルレジン」による昆虫標本が出来上がりました。</p> 